

私とロータリー

寄稿

今回はロータリーの社会奉仕と国際奉仕について述べる。この2つの奉仕には個人でできる奉仕（個人奉仕）と個人の力だけではできない奉仕（団体奉仕）が共存している。

例を挙げよう。国際ロータリーには高校生を対象に相互に留学生を派遣しあう事業がある。派遣された高校生は1年間ロータリアンの家庭にホ

第2760地区拡大委員会委員長

杉浦 壽康 (下)

ムステイしてその国について学ぶ。高校時代に異国の生活、文化、自然などを見聞することは、将来の人生に大いに役立つし、国際理解と親善にも寄与する。

個人奉仕によって成り立っている。この交換留学生制度の方貞子さんである。また、1982年にはブサンにある。これもロータリアン国際指揮者コンクールの善意の寄付に負うた。世界いろいろな大で史上初の女性優勝者となった松尾葉子さんも名

第1号は国連難民高等弁務官として活躍された。現在、撲滅寸前にまで成果を挙げて来ている。大変喜ばしいことである。これもロータリアン国際指揮者コンクールの善意の寄付に負うた。世界いろいろな大で史上初の女性優勝者となった松尾葉子さんも名

さらに、ロータリー財

奉仕の機会を与えてくれるもの (三)

団は「世界平和フェローシップ」制

この事業に必要な膨大な費用は、国際ロータリーの資金管理団体であるロータリー財団に、世界のロータリアンから寄せられた浄財が当てられると同時に、ホームステイというロータリアンの

この事業に必要な膨大な費用は、国際ロータリーの資金管理団体であるロータリー財団に、世界のロータリアンから寄せられた浄財が当てられると同時に、ホームステイというロータリアンの

古屋中ロータリークラブを設けて世界平和のため活動する奨学生を資金の面から応援し、育成

近年、国際ロータリーの本部はWHO（世界保健機構）に協力する形で地球からポリオを撲滅目指してロータリーが動き始めた。

